

令和6年度参加型予算制度モデル実施における区民等からの事業提案等について

1 テーマ及び要件

令和6年度は「防災×^{ぼうさいかけるマルマル}〇〇」をテーマに、「防災・減災」分野と他分野とのかけ合わせにより、それぞれの取り組みを推進できる事業などについて、区民等から提案を募集した。提案事業の要件は、原則として以下の①から③までの全ての要件を満たすものとした。

- ① 防災に関するもの（区が実施可能な事業に限る）
- ② 1事業につき2,000万円以内のもの
- ③ 単年度事業であるもの

その他、詳細は「令和6年度参加型予算制度モデル実施要項」のとおり。

2 事業提案の募集期間

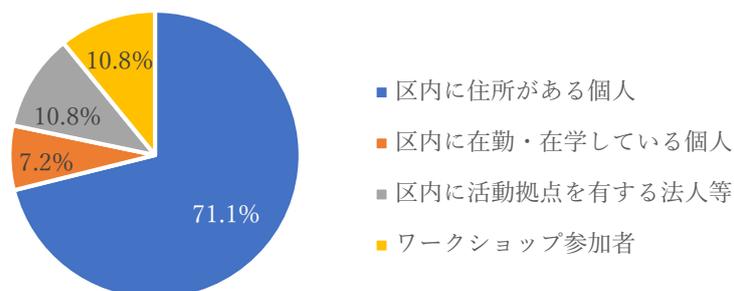
令和6年5月15日～6月30日

3 受付方法

インターネット又は郵送（ワークショップ参加者による提案を除く）

4 事業提案の件数

提案者の属性	提案件数	割合
区内に住所がある個人	59	71.1%
区内に在勤・在学している個人	6	7.2%
区内に活動拠点を有する法人等	9	10.8%
ワークショップ参加者	9	10.8%
合計	83	



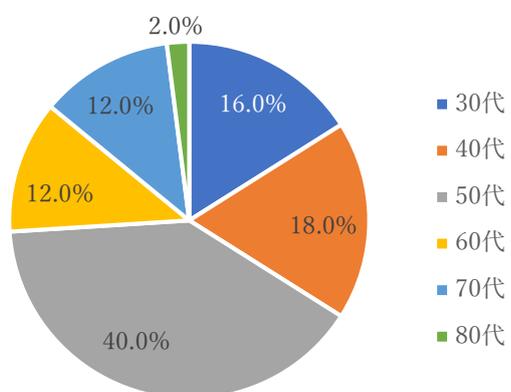
5 提案者の内訳

提案者の属性	提案者数	割合
区内に住所がある個人	50	78.1%
区内に在勤・在学している個人	6	9.4%
区内に活動拠点を有する法人等	8	12.5%
合計	64	

※複数の事業提案をしている者がいるため、提案件数と一致しない。

6 提案者の年代

区内に住所がある個人の提案者の年代	人数	割合
30代	8	16.0%
40代	9	18.0%
50代	20	40.0%
60代	6	12.0%
70代	6	12.0%
80代	1	2.0%
合計	50	



7 投票事業の選定

判断内容	件数	割合
第一次審査で「実施不可」とした提案	59	71.1%
第一次審査で「実施可」とした提案	24	28.9%
うち、第二次審査で選定した提案	11	13.3%
合計	83	

令和6年度参加型予算制度モデル実施要項（以下、「実施要項」という。）6（1）に基づき、政策経営部財政課及び関係各課にて第一次審査をしたのち、実施要項6（2）に基づく参加型予算制度投票事業検討委員会による第二次審査を行い、投票事業を選定した。

区民等からの提案の趣旨を出来る限り実施につなげることを目的に、区で検討し、提案を統合した結果、10事業を区民投票に付した。

なお、区民等から受け付けた提案（全文）と区の考え方は区HPに掲載している。

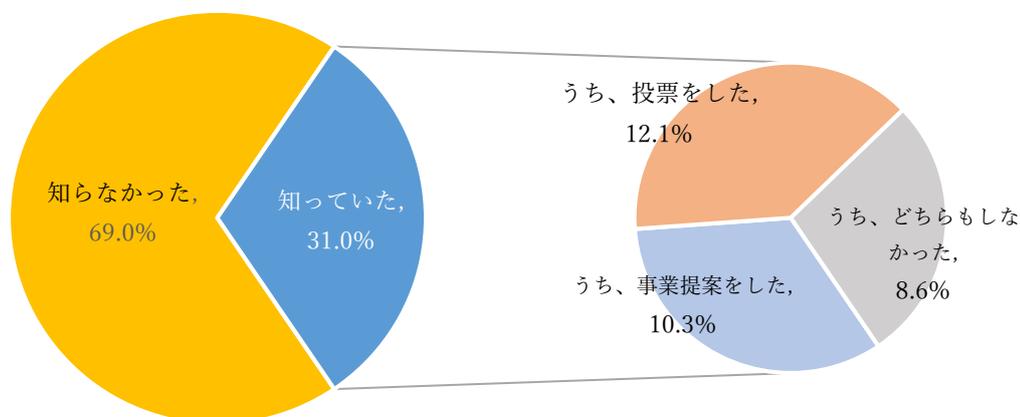
https://www.city.suginami.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page/_001/096/228/r06_zenbun_kunokangaekata.pdf

8 提案時に実施したアンケート項目集計結果

杉並区民における参加型予算制度について、令和5年度もモデル実施をしていたことは知っていましたか。
令和5年度のモデル実施を知っていた場合、事業提案や投票に参加しましたか。

令和5年度の参加型予算制度モデル実施について知っていたか。【アンケート】

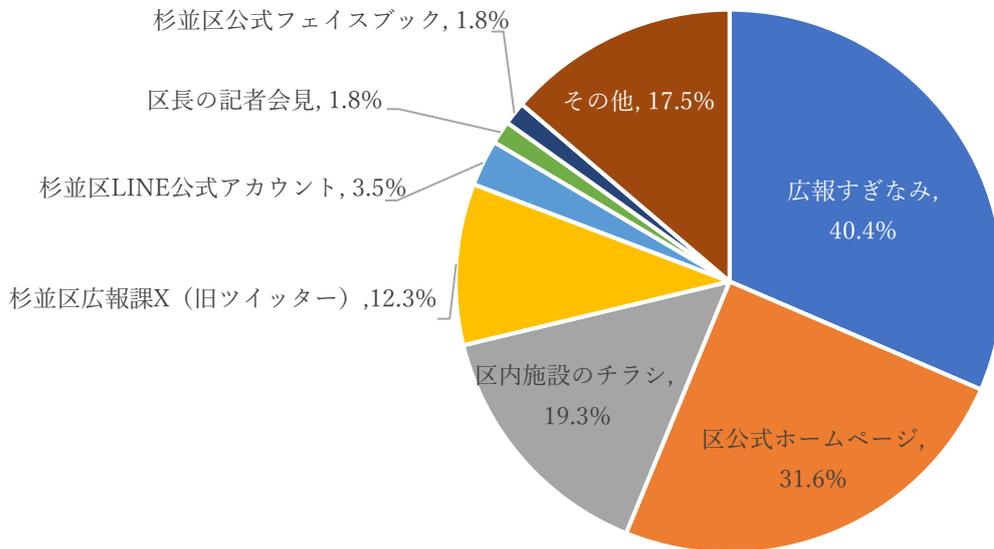
令和5年度モデル実施について	人数	割合
知っていた	18	31.0%
うち、事業提案をした	6	10.3%
うち、投票をした	7	12.1%
うち、どちらもしなかった	5	8.6%
知らなかった	40	69.0%
合計	58	



令和6年度の杉並区民における参加型予算制度について、何で知りましたか。当てはまるものを全て選択してください。

参加型予算について何で知ったか【アンケート・複数回答可】

参加型予算について何で知ったか	回答数	割合
広報すぎなみ	23	40.4%
区公式ホームページ	18	31.6%
区内施設のチラシ	11	19.3%
杉並区広報課X(旧ツイッター)	7	12.3%
杉並区LINE公式アカウント	2	3.5%
区長の記者会見	1	1.8%
杉並区公式フェイスブック	1	1.8%
その他	10	17.5%
回答者数	57	



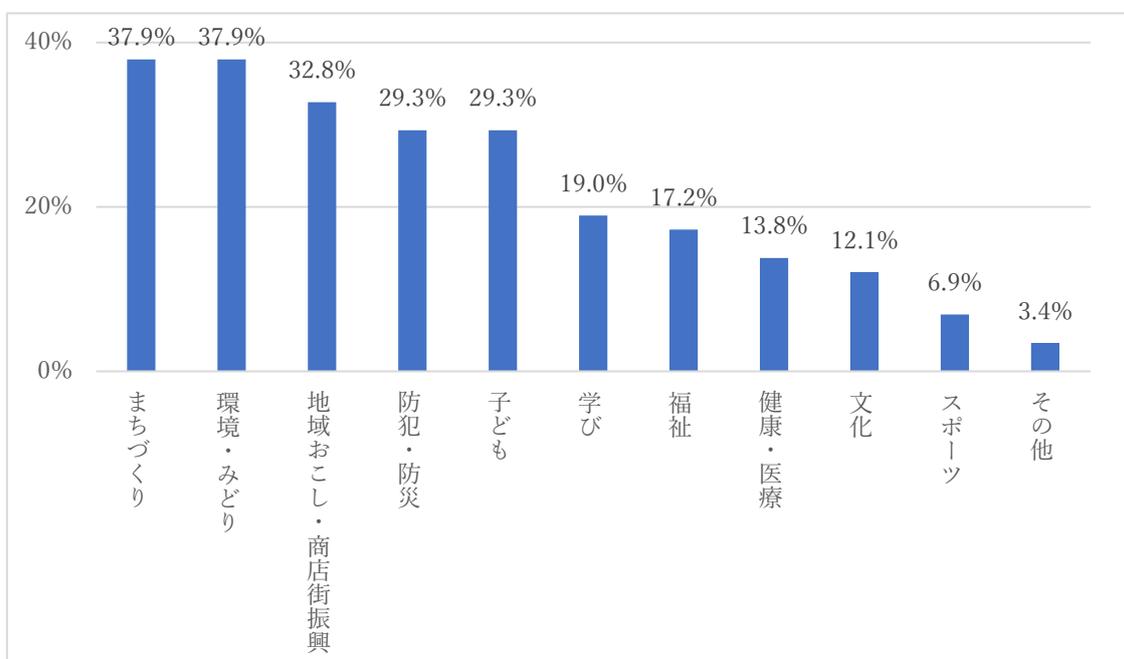
「その他」の記載内容

家族・友人・知人から
杉並区メールニュース
すぎ丸車内広告
成三・成二町会主催 春らんまん祭り

令和7年度以降に提案を募集する場合、どのようなテーマが良いか、あなたの考えに近いものを3つまで選んでください。

次回、どのようなテーマが良いか【アンケート・3つまで複数回答可】

実施してほしいテーマ	回答数	割合
まちづくり	22	37.9%
環境・みどり	22	37.9%
地域おこし・商店街振興	19	32.8%
防犯・防災	17	29.3%
子ども	17	29.3%
学び	11	19.0%
福祉	10	17.2%
健康・医療	8	13.8%
文化	7	12.1%
スポーツ	4	6.9%
その他	2	3.4%
回答者数	58	



「その他」の記載内容

交通安全と自転車活用

ジェンダーレス社会や、女性が活躍出来る環境づくりの第一歩は、小学校での教育が最も大事。

参加型予算の取組に関するご意見（自由記載）

※原則として、原文にて全件掲載しています。

富士山噴火

良い企画だと思います。

一般の区民が意見を出せる機会があることが素晴らしいと思います。続けてほしいと感じました。

参加型予算のテーマは区民全体に SNS でアンケートを取る。（IG や X の vote 機能を活用して簡易にする）

もっと区民の意見を取る際に、SNS を活用すればいいと思います。（ハードルが下がり、より多くの意見を集めることができます）

自分たちの暮らす街をどうしたいか、自分たちで考え・話し合い・決める、こんな単純なことを今まであまり考えずに生活してきましたが、子どもたちの未来のためにもっと自然に地方自治に参加するべきだと思うようになりました。対話の大切にする杉並区の、一步一步を継続することが大切だと感じています。

来年度以降もこの取組を継続して欲しい。

役所の事業は、継続事業がほとんどなので、住民参加型は、新鮮だと思います。

すばらしい取り組みだと思います。

- ・区民が主体になって活動する。まずはこれが大事です。
- ・一人ではできないことを区民同士が連携して活動すれば、かかわる地域のコミュニティーが活性化する。
- ・参加型で予算が使われるのは、住民税を払う区民の「充実感」「満足感」につながる。→すみやすい杉並区を作ること、にかかわることで、安全・健康・充実した生活を送ることができる。

実際には様々な障害や障壁があつて、実行は大変だとおもっています。だからこそ、アイデアが公共公益に資すること＋生活や暮らしがよりよいものになる、ことが一番大事だと思っています。」

とても良い企画だと思うので、継続してほしい。

<p>一昨年から西田自治会活動、民生委員児童委員、震災救援所運営等に参加することになり様々な方々と接する機会が増えた。多様性の現在、高齢者と若者が共存できる安全で安心に暮らせる杉並区を推進していく必要を感じている。</p>
<p>今回は、自分の気持ちが常にわくわくしながら提案書を作成できるテーマだったので、期限を意識せずに楽しく進めることができました。</p> <p>朝の通勤時に街頭の消火器を見て、徐々に煮詰めて、考えついた提案を、プロセスを想定し、設定しながら、文章でまとめたかたちにする行為は、私生活・会社業務での様々な企画の立案に役立つ貴重な機会となりました。本当にどうもありがとうございました。</p> <p>今後も 人を、参加させたい、わくわくドキドキするテーマの選定を、どうぞよろしく願いいたします。機会があればまた応募します。</p>
<p>とても良い企画です。</p>
<p>もう少し区の中核的な事業も参加型にできたらよいのではないかと。今は難しいと思うが後々・・・。</p>
<p>この事業にかかわらず、文化的遺産を「次の世代に引き継いでいける」ことを希望します</p>
<p>博学な方もたくさん居住されているので、面白いアイデアが出そうで良い</p>
<p>単年度予算となっているが、一度だけ行って効果がでることは少ない。3年間は継続実施できる予算としたほうが、その後の政策として制度設計につながるのではないかと。</p>
<p>テーマを決めなくても良いのでは</p> <p>テーマに縛られずに提案したい</p>
<p>良いことです。</p>
<p>区民参加型予算事業の応募アイデアの全体の傾向が知りたいので区HPや区報で発表してほしい。</p>
<p>ふだん企画などしませんが、考えるのは楽しかったです。</p>
<p>テーマを絞って募集すると、専門性がある良質なアイデアがだされやすくなる反面、自分の得意分野でないからと応募数が限定的になるデメリットがあるかもしれません。</p> <p>テーマを幅広くして募集すれば、アッと思われる斬新なアイデアやその組み合わせが寄せられるかもしれません。</p> <p>敬老×○○、音楽×○○、スポーツ施設×○○、健康×○○、アート×○○ etc..</p> <p>今後もこの取組を改善進化させて、よりよい区政を目指してください。</p>
<p>広く区民から意見を募っていただき、ありがとうございます。自分達が暮らす地域を真剣に考えるきっかけとなりました。今後とも続けていただきたいと思います。</p>
<p>今回提案された事業の全てを公開してほしい。</p>
<p>杉並区の参加型予算について、ますます区民のお一人おひとりに知っていただくには、前向きな気持ちで、あきらめないことが重要です。</p> <p>選挙の投票率が上がることを目標とするのと同じように、たくさんの区民のみなさんと</p>

向き合う必要があります。

区民のみなさんと向き合うことは、無関心と向き合うことでもあります。

道を歩いている無関心な方や、自転車に乗っている無関心な方が、ハッとふりかえるような、中身のある、内容のある、一言で分かりやすい政策や施策が、どんなときも、無関心には、最も効果的です。

区民参加型予算だけでなく、区政に関心を、区民の一人おひとりが寄せていただくには、杉並区がまず、一人おひとりの「人」に関心を持つことが、大切です。

つまり、双方向のコミュニケーションが、これからの杉並区政では、重要になってくると考えます。

区政に無関心な方も含めて、一人おひとりの声、意見や提案を伺う。

これは、多忙な区職員のみなさんが行うのではなく、AI などのデジタル、テクノロジーを使って、区民一人おひとりの声、意見や提案を伺うシステムや仕組みを作るのがよいかと考えます。

AI などのデジタルは、道具です。

AI などのデジタルを行政で活用するには、たしかに新しいビジョンが必要です。

たとえば、区民との対話を大切にするビジョンなどがあると、デジタルが活かされます。デジタル民主主義です。

それゆえ、なぜ、杉並区において、区民参加型予算を行うのか？

このビジョンとミッションを、誰もが分かりやすい一言、中身のある、内容のあることばと具体的な数字で表現したならば、かならず、無関心だった人のところに響くと考えました。

最後まで、お読みいただき、ありがとうございました。